

令和4年3月号

米沢市在宅医療  
介護連携支援センターたより

2022.3.9

裏表紙

## おしよしなノート



### アンケートより 「おしよしなノート」の今後の周知方法(抜粋)

- ・介護予防教室などの周知、お知らせ。
- ・市役所の窓口や広報への掲載。
- ・各地域包括支援センター主催の教室に盛り込む。
- ・サロン等での出前講座。
- ・権利擁護・後見制度の説明会等で、民生委員、ケアマネや介護福祉関係者に周知。
- ・地域で開催される、介護のセミナーなど⇒出前講座で実際の記載の方法も学べると良いと思いました。
- ・介護予防教室に参加される年代の方にお渡しできるのが良いと思うが・・・開業医の先生のところにも置いてもらえれば良いと思う。
- ・出前講座や職員にも周知できるよう研修会があればいいと思います。
- ・出前講座など、施設向けの勉強会などいかがでしょうか。
- ・広報、介護予防教室、もっと身近な所、コミュニティーセンター、その他手にとれる所。

多くのご意見等をありがとうございました。今後の活動に活かしていきます。



また、コロナ禍の中での、感染拡大予防対策は、大変重要です。  
感染対策等で、困っていること、疑問に思っていることがありましたら、  
当センターにご一報ください。

センターからのお知らせ  
今月号は、  
米沢版エンディングノート  
「おしよしなノート」のアンケート  
より、活用法、周知方法を掲載  
しています。



米沢市マスコットキャラクター  
直江兼続かねたん ©aki okano

### アンケートより「おしよしなノート」の活用法(抜粋)

- ・今後予測される延命や治療などに関して、本人家族と共有できる有効なツールになると思う。
- ・ターミナル患者には、活用しやすいと思う。
- ・終活を意識するのではなく、ケアマネも初回アセスメントで参考にしたいです。
- ・高齢者や障がい者等が自己決定できるので、対象者の権利を擁護する場合の活用。
- ・最期までどのように過ごしたいか等の話題になったときに活用し、本人の意向を可視化して家族等含めた関係者間で共有できるようにしていきたい。
- ・既往歴の説明が他者にできる。

～その人らしい生き方を実現するために、本人の意思を尊重した、医療と介護の連携を促進するために～